

## 清流長良川と世界遺産

岐阜県中濃県事務所 環境課

岐阜県を代表する清流といえば、長良川が思い浮かびます。

郡上市の大日ヶ岳に源を発し、濃尾平野を流れ人口41万人を擁する岐阜市を通過し、伊勢湾に注ぐ木曽川水系の一級河川です。

中濃県事務所管内には、この長良川に関係する世界遺産が3つあります。

先人が払ってきた清流を守る努力に思いをはせながら3つの世界遺産を登録又は認定を受けた年代順に紹介しようと思います。

### 平成26年11月27日登録

口伝による伝統及び表現、芸能（民族音楽など）、社会的慣習・儀礼及び祭礼行事、自然及び万物に関する知識及び慣習、伝統工芸技術などの無形文化遺産を対象としたユネスコ無形文化遺産（登録機関：国際連合教育科学文化機関（UNESCO））に「和紙 日本の手漉き和紙技術」として、「石州半紙」、「細川紙」とともに「本美濃紙（ほんみのし）」が、認定・登録されました。

本美濃紙は、ユネスコ無形文化遺産に登録される45年前に、工芸技術である手漉き和紙のひとつとして国の重要無形文化財に指定されています。



本美濃紙とは、美濃和紙の中でも長良川の支流板取川の良質な水を使用して、最高級の「那須こうぞ」のみを原料として、伝統的な製法、用具を用いて製造され、品質及び製造技術が連綿と受け継がれている紙のみに与えられた名称です。

この技術は、現在本美濃紙保存会会員（5名）により美濃市牧谷地区において引き継がれています。

美濃和紙は、約1300年前の奈良時代の大宝律令によって編纂された戸籍の用紙として使

用され、現在も正倉院に保管されています。

江戸時代になると、高級障子紙の評価をゆるぎないものとして、「美濃判」として障子紙の規格となり、現在の日本工業規格である「JIS B列」の元となりました。

紙すき体験を美濃和紙の里会館で体験することが、また、旧今井家住宅・美濃市資料館、美濃和紙あかりアート館で、生活の中の美濃和紙に触れることができます。

### 平成27年10月13日登録

建設から100年以上を経過し、地域農業の革新的な発展に関与した歴史的なかんがい施設を対

象とした世界かんがい施設遺産(登録機関: 国際かんがい排水委員会(ICI D))に、「曾代用水」が登録されました。

曾代用水は、美濃市曾代地区の長良川左岸から取水し、関、美濃両市の農地約1000haを潤す、幹線延長約17キロメートルの農業用水路です。

江戸時代初期までの関市一帯は、水の便が悪くたびたび干ばつに悩まされてきましたが、幕藩体制で分断された統治により大規模な灌漑施設がありませんでした。このため、3人の地域の豪農、篤志家を中心に地域農民相互で灌漑水路の建設事業に着手することとなりました。

硬い岩盤を手作業で掘削する難工事のため水路の完成までには、約10年の月日を費やし1669年に用水が完成し、かつての荒れ地は美田へと姿を変えました。

現在においても、補修工事の努力が続けられています。



## 平成27年12月15日認定

世代を超えて継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業及びそれに密接に関わって育まれた地域、文化及び農業生物多様性が一体となった世界的に重要な農林水産業システムを対象とした世界農業遺産(認定機関: 国際連合食糧農業機関(F A O))に、「清流長良川の鮎」が認定されました。

長良川は、流域に約86万人の人口を抱え、幾つかの都市部を流れる川でありながら、流域の人々の暮らしと企業活動の中で清流が保たれ、その中で鮎が育っています。

清流と鮎は地域の経済や歴史、食・文化と深く結びついています。こうした人の生活、水環境、漁業資源が密接に関わる里川の全体システムを「長良川システム」としてとらえています。

## ○それぞれの世界遺産に関連する施設の紹介

### 本美濃紙

#### 美濃和紙の里会館

所在地 美濃市蔵生1851-3

紙すき体験の他、紙をテーマとした常設展があります。

#### 旧今井家住宅・美濃資料館

所在地 美濃市泉町1883

江戸の豪商、和紙問屋を利用して様々な郷土資料の展示を行っています。



### 美濃和紙あかりアート館

所在地 美濃市本住町1901-3

秋の夜の風物詩「美濃和紙あかりアート展」を館内に再現しています。

### 曾代用水

#### 井神社

所在地 関市下有知6324-2

曾代用水を開削した3先人を主祭神として祀り、その功績をたたえています。

### 清流長良川の鮎

ぜひ、長良川各所に設けられる築で、鮎の伝統漁法の一つである築漁と 長良川の鮎をお楽しみください。

### 長良川あゆパーク

所在地 郡上市白鳥町長滝字下川原420-10

平成30年6月1日にオープン。

アユの友釣りなどの漁業体験やとらえた鮎などをご賞味いただけます。



### 最後に

人々の生活の中で、親しまれ活用されている清流「長良川」を守っていくためには、地域住民、産業界そして行政の密接な協力と努力が必要となります。

美しい清流「長良川」を次世代に伝えていくためにも、産業環境保全協会の皆様の一層のお力添えをお願いします。

### 参照

岐阜県ホームページ <http://www.pref.gifu.jp/kensei/ken-gaiyo/gifuisan.html>

美濃市ホームページ <http://www.city.mino.gifu.jp/honminoshii/meeting/index.html>